

# フォレストニュース

植林が地球を救う

平成30年(2018)2月10日

No. 122

発行 高津啓洋

## 日本の支援で広がる森づくり



綺麗になりました。散歩道ができました。

2000年当初からパンタナール地域の植樹活動を続けてきた、地球の緑を守る会の活動は、パラグアイ国の各地に植樹を行って



きました。特にレダを中心に様々な樹種を植林し、今はニームの木の成長が目覚ましく。その活用が様々な面で期待されています。

そうした中土地本来の木の植樹も順調に行われています。聖木と言わ

## パラグアイの青年が森を整備奉仕



ハチドリ



オキナインコ

れるパルサント、水に沈み釘も寄せ付けないケブラッチョ、また南米桜として親しまれているラパッチョ、赤い花が素晴らしいチバト、紫の花がきれいなハカラダ等、山や街でも見ることができ親しまれています。

1月末、パラグアイの青年たちを中心に、レダでの奉仕活動が始まりました。彼らは、緑の会によって植えられた植樹地の下草やつる草を丁寧に取り除いていました。上の写真は日本からの支援でできた10年ほど前の愛和の森の写真です。植えたときは30センチほどの木々でしたが、今では高さが8メートルを超えるようになり、立派な木に成長しています。

森が大きくなると野鳥が多く飛び交い、豊かな森となって、昆虫

も増えて本来の自然環境が回復していきます。上の写真もレダでよく見られるハチドリやオキナインコです。

## 春の1日セミナー

4月14日(土)10時受付。春の1日セミナーが国立オリンピック青少年総合センターで行われます。昨年はちょうど桜が満開の季節でしたが、今年は春芽の葉桜の時期となると思います。

高津理事長のフィールドワークによる、森の説明も聞くことができます。また、パンタナールでの植樹と、環境保護を中心とした講義を受けることができます。この機会にぜひ、参加されることをお勧めいたします。

会費は2000円で昼食付きです。会員間の良き交流の場ともなります。

[お知らせ] 4月14日(土)国立オリンピック青少年センターで、春の1日セミナーを開きます。参加希望を募っています。